

決 算 審 査 資 料

目 次

病院事業会計

1 業 務 実 績 表	31
2 予算決算対照比較表	32
3 損益計算書前年度対比表	34
4 貸借対照表前年度対比表	36
5 経 営 分 析 表	38
6 経 営 指 標 の 推 移	42

公共下水道事業会計

1 業 務 実 績 表	47
2 予算決算対照比較表	48
3 損益計算書前年度対比表	50
4 貸借対照表前年度対比表	52
5 経 営 分 析 表	54
6 経 営 指 標 の 推 移	58

病 院 事 業 会 計

1 業務実績表

項 目		単位	令和 7 年度	令和 6 年度	比較増減	備 考		
病床数		稼 働 数	床	380	380	0	年度末現在	
		許 可 数	床	481	481	0		
診 療 患 者 数	入 院	年 計	人	108,255	111,416	△ 3,161	年間入院延患者数	
		1 日 平 均	人	296.6	305.2	△ 8.6	年間入院延患者数 年間日数	
	外 来	年 計	人	169,135	179,040	△ 9,905	年間外来延患者数	
		1 日 平 均	人	698.9	736.8	△ 37.9	年間外来延患者数 診療日数	
	計	年 計	人	277,390	290,456	△ 13,066		
		1 日 平 均	人	995.5	1,042.0	△ 46.5		
病床利用率		稼働数	%	78.0	72.4	5.6	年間入院延患者数 年間延病床数	×100
		許可数	%	61.7	63.5	△ 1.8		
入 院 外 来 患 者 比 率			%	156.2	160.7	△ 4.5	年間外来延患者数 年間入院延患者数	×100
職 員 数	医 師		人	210	203	7		
	看 護 職 員		人	402	403	△ 1		
	医 療 技 術 員		人	111	112	△ 1		
	事 務 職 員		人	69	69	0		
	技 術 職 員		人	7	8	△ 1		
	業 務 職 員		人	105	100	5		
	計		人	904	895	9	年度末現在	
患者 1 人 1 日 当 たり 費 用			円	47,117	43,674	3,443	医 業 費 用 年間入院外来延患者数	
患者 1 人 1 日 当 たり 収 益			円	38,446	35,863	2,583	医 業 収 益 年間入院外来延患者数	
患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 益		入 院	円	63,011	59,714	3,297	入 院 収 益 年間入院延患者数	
		外 来	円	16,714	15,351	1,363	外 来 収 益 年間外来延患者数	
		平 均	円	34,782	32,368	2,414	入 院 外 来 収 益 年間入院外来延患者数	

※稼働数は、休床ベッド数を除いた数値（令和6年4月から429床、10月から430床、令和7年2月から380床）。

※職員数は、会計年度任用職員を含む。

2 予算決算対照比較表

(1) 収益的収支

区分	科目	令和7年度			
		予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率
収入	医業収益	12,211,000,000	10,692,000,107	△ 1,518,999,893	89.4
	医業外収益	888,500,000	1,098,990,784	210,490,784	9.2
	特別利益	166,000,000	169,738,337	3,738,337	1.4
	合計	13,265,500,000	11,960,729,228	△ 1,304,770,772	100
区分	科目	令和7年度			
		予算額	決算額	不用額	構成比率
支出	医業費用	13,150,100,000	13,085,229,704	64,870,296	99.2
	医業外費用	102,300,000	96,274,832	6,025,168	0.7
	特別損失	6,000,000	5,774,823	225,177	0.1
	予備費	7,100,000	0	7,100,000	0
	合計	13,265,500,000	13,187,279,359	78,220,641	100

(2) 資本的収支

区分	科目	令和7年度				
		予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	
収入	企業債	243,500,000	243,500,000	0	35.9	
	補助金	100,000	140,000	40,000	0.0	
	固定資産売却代金	100,000	0	△ 100,000	0	
	他会計負担金	434,000,000	434,000,000	0	64.1	
	合計	677,700,000	677,640,000	△ 60,000	100	
区分	科目	令和7年度				
		予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比率
支出	建設改良費	337,800,000	282,550,954	10,648,000	44,601,046	26.0
	企業債償還金	802,400,000	802,390,064	0	9,936	74.0
	合計	1,140,200,000	1,084,941,018	10,648,000	44,610,982	100

※消費税及び地方消費税込み数値である。

(単位：円、%)

	令和6年度				
執行率	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	執行率
87.6	12,001,000,000	10,445,236,741	△ 1,555,763,259	90.6	87.0
123.7	855,000,000	910,594,961	55,594,961	7.9	106.5
102.3	222,000,000	172,130,488	△ 49,869,512	1.5	77.5
90.2	13,078,000,000	11,527,962,190	△ 1,550,037,810	100	88.1
	令和6年度				
執行率	予算額	決算額	不用額	構成比率	執行率
99.5	12,954,000,000	12,701,690,133	252,309,867	99.2	98.1
94.1	106,000,000	99,721,929	6,278,071	0.8	94.1
96.2	8,000,000	4,865,451	3,134,549	0.0	60.8
0	10,000,000	0	10,000,000	0	0
99.4	13,078,000,000	12,806,277,513	271,722,487	100	97.9

(単位：円、%)

	令和6年度					
執行率	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	執行率	
100	614,700,000	607,100,000	△ 7,600,000	59.5	98.8	
140	100,000	0	△ 100,000	0	0	
0	100,000	0	△ 100,000	0	0	
100	414,000,000	414,000,000	0	40.5	100	
100.0	1,028,900,000	1,021,100,000	△ 7,800,000	100	99.2	
	令和6年度					
執行率	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比率	執行率
83.6	714,800,000	702,904,047	0	11,895,953	48.0	98.3
100.0	762,700,000	762,575,516	0	124,484	52.0	100.0
95.2	1,477,500,000	1,465,479,563	0	12,020,437	100	99.2

3 損益計算書 前年度対比表

借 方					
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
医 業 費 用	13,069,647,996	99.4	12,685,505,085	99.4	3.0
給 与 費	7,392,130,047	56.2	7,245,360,276	56.7	2.0
材 料 費	2,907,114,998	22.1	2,806,957,706	22.0	3.6
経 費	1,984,558,204	15.1	1,896,667,108	14.9	4.6
減 価 償 却 費	753,230,204	5.7	702,084,578	5.5	7.3
資 産 減 耗 費	11,433,873	0.1	9,993,429	0.1	14.4
研 究 研 修 費	21,180,670	0.2	24,441,988	0.2	△ 13.3
医 業 外 費 用	78,160,217	0.6	81,578,629	0.6	△ 4.2
支 払 利 息	37,429,435	0.3	27,753,974	0.2	34.9
長期前払消費税	40,256,440	0.3	38,779,655	0.3	3.8
雑 損 失	474,342	0.0	15,045,000	0.1	△ 96.8
特 別 損 失	5,774,796	0.0	4,865,305	0.0	18.7
過年度損益修正損	5,774,796	0.0	4,865,305	0.0	18.7
小 計	13,153,583,009	100	12,771,949,019	100	3.0
当年度純利益・純損失(△)	△ 1,227,364,419	－	△ 1,280,546,905	－	4.2
合 計	11,926,218,590	－	11,491,402,114	－	3.8

※消費税及び地方消費税抜き数値である。

(単位：円、％)

貸 方					
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
医 業 収 益	10,664,651,356	89.4	10,416,765,710	90.6	2.4
入 院 収 益	6,821,230,275	57.2	6,653,069,266	57.9	2.5
外 来 収 益	2,826,943,658	23.7	2,748,401,864	23.9	2.9
他 会 計 負 担 金	868,000,000	7.3	862,000,000	7.5	0.7
その他医業収益	148,477,423	1.2	153,294,580	1.3	△ 3.1
医 業 外 収 益	1,091,834,057	9.2	902,656,024	7.9	21.0
受取利息配当金	374,100	0.0	137,068	0.0	172.9
他 会 計 負 担 金	498,000,000	4.2	524,000,000	4.6	△ 5.0
補 助 金	233,809,000	2.0	15,085,600	0.1	1,449.9
長期前受金戻入	287,797,777	2.4	268,915,301	2.4	7.0
その他医業外収益	71,853,180	0.6	94,518,055	0.8	△ 24.0
特 別 利 益	169,733,177	1.4	171,980,380	1.5	△ 1.3
合 計	11,926,218,590	100	11,491,402,114	100	3.8

4 貸借対照表 前年度対比表

借		方			
科 目	令和 7 年度		令和 6 年度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
固 定 資 産	6,173,146,031	77.4	6,721,522,958	80.2	△ 8.2
有 形 固 定 資 産	5,680,598,510	71.2	6,211,205,758	74.1	△ 8.5
建 物	2,766,614,649	34.7	2,902,999,831	34.6	△ 4.7
建 物 附 属 設 備	1,366,720,178	17.1	1,477,370,009	17.6	△ 7.5
構 築 物	61,719,713	0.8	68,967,687	0.8	△ 10.5
器 械 備 品	1,484,217,651	18.6	1,696,897,240	20.3	△ 12.5
車 両	1,326,319	0.0	1,660,646	0.0	△ 20.1
リ ー ス 資 産	0	0	63,310,345	0.8	皆減
無 形 固 定 資 産	2,804,700	0.0	2,804,700	0.0	0
電 話 加 入 権	2,804,700	0.0	2,804,700	0.0	0
投 資 そ の 他 資 産	489,742,821	6.2	507,512,500	6.1	△ 3.5
長 期 前 払 消 費 税	489,742,821	6.2	507,512,500	6.1	△ 3.5
流 動 資 産	1,805,923,923	22.6	1,663,127,833	19.8	8.6
現 金 預 金	118,364,537	1.5	60,909,624	0.7	94.3
未 収 金	1,547,065,088	19.4	1,476,569,527	17.6	4.8
貸 倒 引 当 金	△ 6,900,000	△ 0.1	△ 6,500,000	△ 0.1	6.2
貯 蔵 品	145,029,230	1.8	129,761,338	1.6	11.8
前 払 金	1,950,000	0.0	1,950,000	0.0	0
そ の 他 流 動 資 産	415,068	0.0	437,344	0.0	△ 5.1
資 産 合 計	7,979,069,954	100	8,384,650,791	100	△ 4.8

※消費税及び地方消費税抜き数値である。

(単位：円、％)

貸		方			
科 目	令和 7 年度		令和 6 年度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
固 定 負 債	3,458,624,423	43.3	1,265,440,243	15.1	173.3
企 業 債	3,457,324,423	43.3	1,261,120,243	15.0	174.1
建設改良費等の財源に充て るための企業債	724,886,923	9.1	1,119,807,743	13.3	△ 35.3
そ の 他 の 企 業 債	2,732,437,500	34.2	141,312,500	1.7	1,833.6
そ の 他 固 定 負 債	1,300,000	0.0	4,320,000	0.1	△ 69.9
流 動 負 債	2,344,752,248	29.4	3,699,875,234	44.1	△ 36.6
企 業 債	631,205,820	7.9	780,300,064	9.3	△ 19.1
建設改良費等の財源に充て るための企業債	616,330,820	7.7	765,425,064	9.1	△ 19.5
そ の 他 の 企 業 債	14,875,000	0.2	14,875,000	0.2	0
リ ー ス 債 務	－	－	26,239,404	0.3	皆減
未 払 金	750,712,531	9.4	1,092,503,124	13.0	△ 31.3
引 当 金	360,000,000	4.5	360,000,000	4.3	0
賞 与 引 当 金	360,000,000	4.5	360,000,000	4.3	0
預 り 保 証 金	3,230,000	0.1	－	－	皆増
預 り 金	49,603,897	0.6	50,832,642	0.6	△ 2.4
一 時 借 入 金	550,000,000	6.9	1,390,000,000	16.6	△ 60.4
繰 延 収 益	126,825,247	1.6	143,102,859	1.7	△ 11.4
長 期 前 受 金	2,653,986,566	33.3	2,219,846,566	26.5	19.6
補 助 金	544,262,166	6.8	544,122,166	6.5	0.0
他 会 計 負 担 金	2,107,000,000	26.4	1,673,000,000	20.0	25.9
受 贈 財 産 評 価 額	2,600,000	0.1	2,600,000	0.0	0
寄 附 金	124,400	0.0	124,400	0.0	0
長期前受金収益化累計額	△ 2,527,161,319	△ 31.7	△ 2,076,743,707	△ 24.8	21.7
負 債 合 計	5,930,201,918	74.3	5,108,418,336	60.9	16.1
資 本 金	6,155,565,454	77.2	6,155,565,454	73.4	0
剰 余 金	△ 4,106,697,418	△ 51.5	△ 2,879,332,999	△ 34.3	△ 42.6
利 益 剰 余 金 （ 欠 損 金 ）	△ 4,106,697,418	△ 51.5	△ 2,879,332,999	△ 34.3	△ 42.6
当年度未処分利益剰余金 （当年度未処理欠損金）	△ 4,106,697,418	△ 51.5	△ 2,879,332,999	△ 34.3	△ 42.6
資 本 合 計	2,048,868,036	25.7	3,276,232,455	39.1	△ 37.5
負 債 ・ 資 本 合 計	7,979,069,954	100	8,384,650,791	100	△ 4.8

5 経営分析表

(1) 構成比率及び財務比率

項 目		算 式		比 率	
				令和7年度	令和6年度
構 成 比 率	1 固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{6,173,146,031}{7,979,069,954} \times 100$	77.4	80.2
	2 流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{1,805,923,923}{7,979,069,954} \times 100$	22.6	19.8
	3 固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{3,458,624,423}{7,979,069,954} \times 100$	43.3	15.1
	4 流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{2,344,752,248}{7,979,069,954} \times 100$	29.4	44.1
	5 自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{2,175,693,283}{7,979,069,954} \times 100$	27.3	40.8
財 務 比 率	6 流動資産対固定資産比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産}} \times 100$	$\frac{1,805,923,923}{6,173,146,031} \times 100$	29.3	24.7
	7 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	$\frac{6,173,146,031}{2,175,693,283} \times 100$	283.7	196.6
	8 固定長期適合比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	$\frac{6,173,146,031}{5,634,317,706} \times 100$	109.6	143.5
	9 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{1,805,923,923}{2,344,752,248} \times 100$	77.0	45.0
	10 酸性試験比率（当座比率）	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{1,658,529,625}{2,344,752,248} \times 100$	70.7	41.4
	11 現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{118,364,537}{2,344,752,248} \times 100$	5.0	1.6
	12 負債比率	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	$\frac{5,803,376,671}{2,175,693,283} \times 100$	266.7	145.2
	13 固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	$\frac{3,458,624,423}{2,175,693,283} \times 100$	159.0	37.0
	14 流動負債比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	$\frac{2,344,752,248}{2,175,693,283} \times 100$	107.8	108.2

(単位：円、％)

	備 考
令和5年度	
81.0	総資産＝固定資産＋流動資産 総資本＝資本＋負債 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益 ※構成比率は構成部分の全体に対する関係を表すものである。 1 固定資産構成比率は大きいほど資本の固定化の傾向にある。 2 流動資産構成比率は大きいほど資本の流動化の傾向にある。 3 固定負債構成比率 4 流動負債構成比率 } は企業の長期安定性を測定するもので比率が小さいほどよい。 5 自己資本構成比率は大きいほど経営の安定性を示す。 ※財務比率は貸借対照表における資産と負債、または資本との相互関係を表すもので、 企業の経営活動の成果と財務状態の健全性を測定するものである。 6 流動資産対固定資産比率は固定資産と流動資産の関係を示すもので、数値が小さいほど資本が固定化している。 7 固定比率 8 固定長期適合比率 } は100％以下が望ましく、超えた場合は過大投資といえる。 9 流動比率は一般的に200％以上を望まれるが、地方公営企業では100％を下らなければよいとされている。 10 酸性試験比率（当座比率）は100％以上を理想としている。 11 現金預金比率は20％以上が望ましい。 12 負債比率は100％以下を理想としている。 13 固定負債比率 14 流動負債比率 } は負債比率の補助的な比率で、両者の合計は負債比率と一致する。
19.0	
17.8	
26.2	
56.0	
23.5	
144.5	
109.7	
72.5	
66.7	
2.5	
78.4	
31.7	
46.7	

(2) 回転率、収益率及びその他の比率

項 目		算 式		比 率	
				令和7年度	令和6年度
回 転 率	15 総資本回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{平 均 総 資 本}}$	$\frac{10,664,651,356}{8,181,860,373}$	1.3	1.2
	16 自己資本回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{平 均 自 己 資 本}}$	$\frac{10,664,651,356}{2,797,514,299}$	3.8	2.6
	17 固定資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{平均(固定資産－土地－建設仮勘定)}}$	$\frac{10,664,651,356}{6,447,334,495}$	1.7	1.5
	18 流動資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{平 均 流 動 資 産}}$	$\frac{10,664,651,356}{1,734,525,878}$	6.1	6.4
	19 現金預金回転率	$\frac{\text{当 年 度 支 出 額}}{\text{平 均 現 金 預 金}}$	$\frac{14,272,220,377}{89,637,081}$	159.2	245.2
	20 未収金回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{平 均 未 収 金}}$	$\frac{10,664,651,356}{1,511,817,308}$	7.1	7.2
	21 減価償却率	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	$\frac{753,230,204}{6,433,828,714} \times 100$	11.7	10.2
収 益 率	22 総資本利益率	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{\text{平 均 総 資 本}} \times 100$	$\frac{\triangle 1,227,364,419}{8,181,860,373} \times 100$	$\triangle 15.0$	$\triangle 15.2$
	23 自己資本利益率	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{\text{平 均 自 己 資 本}} \times 100$	$\frac{\triangle 1,227,364,419}{2,797,514,299} \times 100$	$\triangle 43.9$	$\triangle 31.5$
	24 総収益対総費用比率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	$\frac{11,926,218,590}{13,153,583,009} \times 100$	90.7	90.0
	25 医業収益対医業費用比率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	$\frac{10,664,651,356}{13,069,647,996} \times 100$	81.6	82.1
そ の 他	26 利子負担率	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{平均(借入金} + \text{企業債} + \text{リース債務)}} \times 100$	$\frac{37,429,435}{4,048,094,977} \times 100$	0.9	0.9
	27 企業債償還額対償還財源比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 額}}{\text{当年度減価償却費} + \text{当年度純利益}} \times 100$	$\frac{802,390,064}{\triangle 474,134,215} \times 100$	$\triangle 169.2$	$\triangle 131.8$

(単位：円、回、%)

	備 考
令和5年度	
1.1	平均＝1/2（期末＋期首）
2.0	償却資産＝（有形固定資産＋無形固定資産）－（土地＋建設仮勘定） ※電話加入権は、非償却資産として取り扱う。
1.4	※回転率は企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に利用されていることを表すものである。
5.2	15 総資本回転率は企業に投下されている資本の効果を判定する。
182.4	16 自己資本回転率は自己資本の利用度を示すもので低すぎても高すぎてもよくない。 17 固定資産回転率は固定資産の利用度を示すもので大きいほど企業は安定である。
5.7	18 流動資産回転率は大きいほど資本の運用形態がよい。 19 現金預金回転率は支払金に対する現金の利用度を示す。
10.5	20 未収金回転率は大きいほど未収金の回収状況がよい。 21 減価償却率は固定資産に投下された資本の回収状況をみる。
$\triangle 7.3$	※収益率は収益と費用を対比して企業の経営活動を表すもので、その比率は大きいほど良好な成果を示すものである。
$\triangle 13.3$	22 総資本利益率 23 自己資本利益率 } は投下した資本の収益力を測定する。
94.6	24 総収益対総費用比率 25 医業収益対医業費用比率 } は企業の全活動の能率を表すもので100%以上が理想である。
83.3	※その他の比率 26 利子負担率は利子負担を抑制し、財務の健全性確保の指針とする。
1.1	27 企業債償還額対償還財源比率は100%以下が望ましいとされる。
1,088.4	

6 経営指標の推移

(1) 経常収支比率 (単位：円、%)

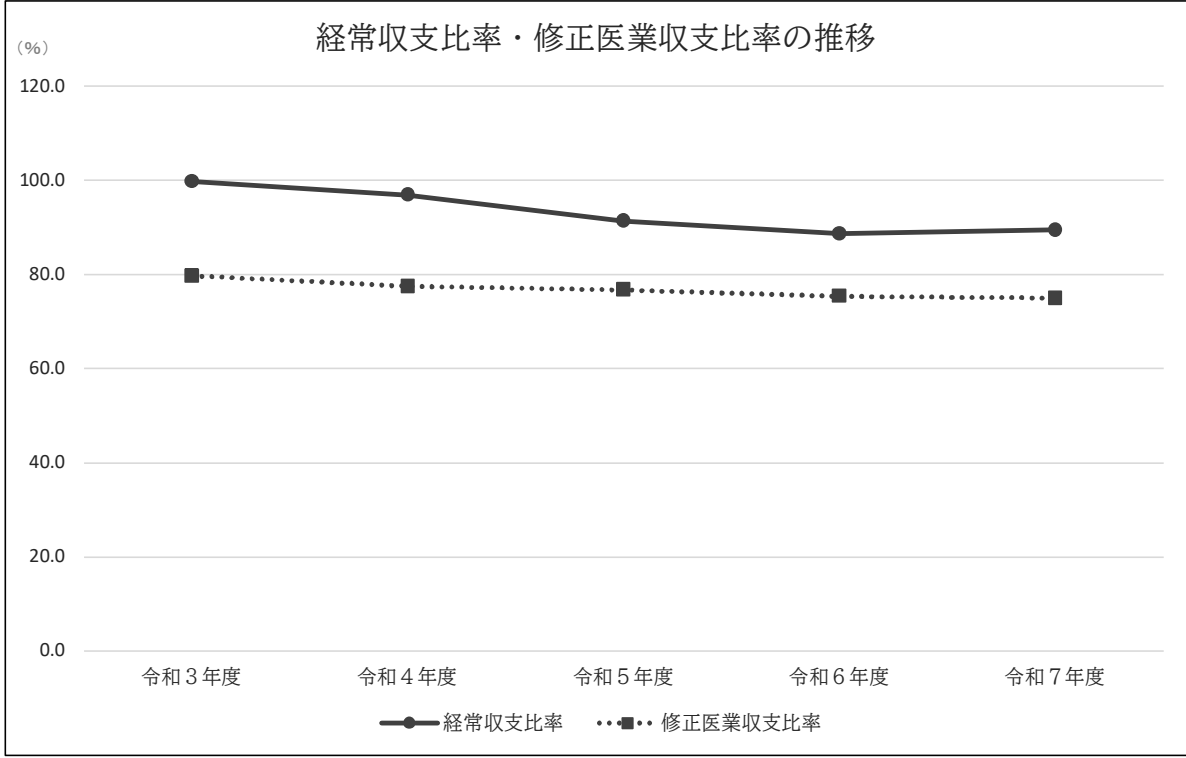
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収益 (A)	11,475,252,606	11,732,700,608	11,307,774,259	11,319,421,734	11,756,485,413
経常費用 (B)	11,508,118,395	12,116,631,889	12,386,034,684	12,767,083,714	13,147,808,213
経常損益 (A)－(B)	△ 32,865,789	△ 383,931,281	△ 1,078,260,425	△ 1,447,661,980	△ 1,391,322,800
経常収支比率 (A)/(B)×100	99.7	96.8	91.3	88.7	89.4

※経常収支比率は、医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標。100%を超えると単年度の収支が黒字であることを示している。

(2) 修正医業収支比率 (単位：円、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
修正医業収益 (A) ①－②	9,103,330,961	9,315,783,818	9,434,397,797	9,554,765,710	9,796,651,356
医業収益 ①	9,873,330,961	10,085,783,818	10,246,397,797	10,416,765,710	10,664,651,356
他会計負担金 ②	770,000,000	770,000,000	812,000,000	862,000,000	868,000,000
医業費用 (B)	11,422,097,681	12,029,484,521	12,302,201,309	12,685,505,085	13,069,647,996
修正医業収支比率 (A)/(B)×100	79.7	77.4	76.7	75.3	75.0

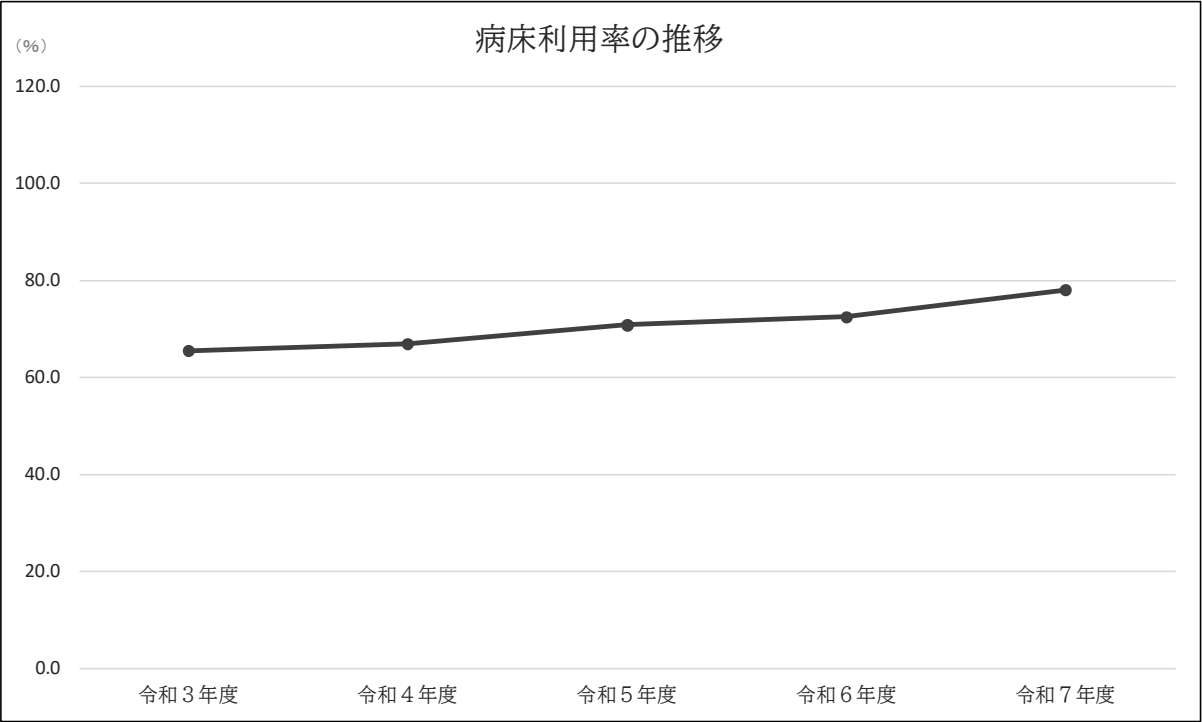
※修正医業収支比率は、病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を表す指標。公立病院においては、一般会計等からの所定の繰出による経常黒字化（経常収支比率100%以上）を目指す中で、本業である修正医業収支の改善に向けた取組を進めるべきであるとされる。



(3) 病床利用率（稼働病床数） (単位：人、床、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年延入院患者数 (A)	103,329	105,471	111,923	111,416	108,255
年延病床数 (B)	157,680	157,680	158,112	153,817	138,700
病床利用率 (A)/(B)×100	65.5	66.9	70.8	72.4	78.0

※病床利用率は、年延病床数に対する年延入院患者数の割合を表し、病院の施設が有効に活用されているかを示す指標。病床利用率が低い場合、病床規模が不相当であることや病床が有効に活用されていないことなどが考えられる。



公共下水道事業会計

1 業務実績表

項 目		単位	令和 7 年度	令和 6 年度	比較増減	備 考
処 理 区 域 面 積		ha	2,856	2,784	72	公共下水道が整備され、公共下水道の利用が可能な面積
行政区域内人口		人	341,379	341,992	△613	
処 理 区 域 内 人 口		人	288,703	288,691	12	公共下水道を利用することができる人口
水 洗 化 人 口		人	280,029	279,535	494	実際に下水道を利用している人口
水 洗 化 戸 数		戸	136,907	135,018	1,889	実際に下水道を利用している戸数
人 口 普 及 率		%	84.57	84.41	0.16	$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$
水 洗 化 率		%	97.00	96.83	0.17	$\frac{\text{水洗化人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$
汚水処理水量	年 間	m³	29,503,509	30,545,651	△1,042,142	下水処理場で処理した年間汚水量
	1 日 平 均	m³	80,832	83,687	△2,855	$\frac{\text{年間汚水処理水量}}{\text{年 間 日 数}}$
有収水量	年 間	m³	27,195,302	27,259,072	△63,770	下水道使用料徴収の対象となった年間水量
	1 日 平 均	m³	74,508	74,682	△174	$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年 間 日 数}}$
有 収 率		%	92.18	89.24	2.94	$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}} \times 100$
職 員 数		人	24	24	0	

※処理区域面積、行政区域内人口、処理区域内人口、水洗化人口、水洗化戸数、人口普及率、水洗化率及び職員数は、各年度末の数値である。

※人口普及率、水洗化率及び有収率は小数点以下第3位を四捨五入し、調整のうえ表示した。

※職員数は、会計年度任用職員を含む。

2 予算決算対照比較表

(1) 収益的収支

区分	科目	令和7年度			
		予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率
収入	営業収益	4,807,400,000	4,739,156,374	△ 68,243,626	71.7
	営業外収益	1,945,100,000	1,874,703,233	△ 70,396,767	28.3
	特別利益	100,000	0	△ 100,000	0
	合計	6,752,600,000	6,613,859,607	△ 138,740,393	100
区分	科目	令和7年度			
		予算額	決算額	不用額	構成比率
支出	営業費用	5,823,200,000	5,542,584,090	280,615,910	94.1
	営業外費用	392,800,000	350,151,635	42,648,365	5.9
	特別損失	100,000	0	100,000	0
	予備費	9,000,000	0	9,000,000	0
	合計	6,225,100,000	5,892,735,725	332,364,275	100

(2) 資本的収支

区分	科目	令和7年度				
		予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	
収入	企業債	909,200,000	866,600,000	△ 42,600,000	47.8	
	国庫補助金	451,385,000	436,995,000	△ 14,390,000	24.1	
	他会計負担金	516,000,000	505,072,390	△ 10,927,610	27.9	
	負担金等	200,000	394,400	194,400	0.0	
	他会計補助金	4,000,000	3,997,791	△ 2,209	0.2	
	その他資本的収入	200,000	0	△ 200,000	0	
	合計	1,880,985,000	1,813,059,581	△ 67,925,419	100	
区分	科目	令和7年度				
		予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比率
支出	建設改良費	1,370,170,000	1,286,540,263	32,000,000	51,629,737	29.6
	固定資産購入費	33,400,000	33,332,480	0	67,520	0.8
	企業債償還金	2,607,700,000	2,607,502,612	0	197,388	60.0
	その他資本的支出	200,000	0	0	200,000	0
	他会計補助金返還金	417,300,000	417,256,293	0	43,707	9.6
	合計	4,428,770,000	4,344,631,648	32,000,000	52,138,352	100

※消費税及び地方消費税込み数値である。

(単位：円、％)

執行率	令和6年度				
	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	執行率
98.6	4,845,700,000	4,753,119,663	△ 92,580,337	71.2	98.1
96.4	2,004,600,000	1,918,685,322	△ 85,914,678	28.8	95.7
0	100,000	878,169	778,169	0.0	878.2
97.9	6,850,400,000	6,672,683,154	△ 177,716,846	100	97.4
執行率	令和6年度				
	予算額	決算額	不用額	構成比率	執行率
95.2	5,734,847,000	5,465,829,540	269,017,460	92.9	95.3
89.1	440,233,000	417,606,504	22,626,496	7.1	94.9
0	100,000	0	100,000	0	0
0	7,620,000	0	7,620,000	0	0
94.7	6,182,800,000	5,883,436,044	299,363,956	100	95.2

(単位：円、％)

	令和6年度					
執行率	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	構成比率	執行率	
95.3	960,400,000	850,300,000	△ 110,100,000	45.3	88.5	
96.8	372,200,000	304,535,000	△ 67,665,000	16.2	81.8	
97.9	563,000,000	518,911,201	△ 44,088,799	27.7	92.2	
197.2	300,000	411,600	111,600	0.0	137.2	
99.9	4,000,000	203,118,330	199,118,330	10.8	5,078.0	
0	200,000	0	△ 200,000	0	0	
96.4	1,900,100,000	1,877,276,131	△ 22,823,869	100	98.8	
	令和6年度					
執行率	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比率	執行率
93.9	1,241,050,000	1,039,729,786	109,170,000	92,150,214	27.2	83.8
99.8	－	－	－	－	－	－
100.0	2,788,900,000	2,788,555,393	0	344,607	72.8	100.0
0	200,000	0	0	200,000	0	0
100.0	－	－	－	－	－	－
98.1	4,030,150,000	3,828,285,179	109,170,000	92,694,821	100	95.0

3 損益計算書 前年度対比表

借 方					
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
営 業 費 用	5,346,376,691	94.4	5,277,911,398	93.8	1.3
管 渠 費	115,548,955	2.0	100,500,060	1.8	15.0
ポ ン プ 場 費	330,194,434	5.8	312,715,427	5.6	5.6
水 洗 化 普 及 費	300,880	0.0	250,000	0.0	20.4
業 務 費	253,232,902	4.5	243,165,933	4.3	4.1
総 係 費	264,518,442	4.6	262,713,432	4.7	0.7
流域下水道維持管理費	1,153,318,990	20.4	1,110,741,056	19.7	3.8
減 価 償 却 費	3,225,074,891	57.0	3,238,894,468	57.5	△ 0.4
資 産 減 耗 費	4,187,197	0.1	8,931,022	0.2	△ 53.1
営 業 外 費 用	314,207,356	5.6	349,870,797	6.2	△ 10.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	230,852,235	4.1	269,232,104	4.8	△ 14.3
雑 支 出	83,355,121	1.5	80,638,693	1.4	3.4
特 別 損 失	0	0	0	0	－
そ の 他 特 別 損 失	0	0	0	0	－
小 計	5,660,584,047	100	5,627,782,195	100	0.6
当年度純利益・純損失(△)	608,429,258	－	699,912,323	－	△ 13.1
合 計	6,269,013,305	－	6,327,694,518	－	△ 0.9

※消費税及び地方消費税抜き数値である。

(単位：円、％)

貸 方					
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
営 業 収 益	4,394,401,507	70.1	4,408,227,239	69.7	△ 0.3
下 水 道 使 用 料	3,443,848,035	54.9	3,445,079,687	54.5	△ 0.0
雨 水 処 理 負 担 金	944,777,812	15.1	957,756,380	15.1	△ 1.4
そ の 他 営 業 収 益	5,775,660	0.1	5,391,172	0.1	7.1
営 業 外 収 益	1,874,611,798	29.9	1,918,592,892	30.3	△ 2.3
受取利息及び配当金	3,468,397	0.1	791,930	0.0	338.0
国 庫 補 助 金	26,950,000	0.4	46,380,000	0.7	△ 41.9
他 会 計 補 助 金	9,061,442	0.2	9,432,499	0.2	△ 3.9
他 会 計 負 担 金	76,203,126	1.2	79,781,590	1.3	△ 4.5
長 期 前 受 金 戻 入	1,757,936,925	28.0	1,779,912,868	28.1	△ 1.2
雑 収 益	991,908	0.0	2,294,005	0.0	△ 56.8
特 別 利 益	0	0	874,387	0.0	皆減
過年度損益修正益	0	0	37,830	0.0	皆減
そ の 他 特 別 収 益	－	－	836,557	0.0	皆減
合 計	6,269,013,305	100	6,327,694,518	100	△ 0.9

4 貸借対照表 前年度対比表

借			方		
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
固 定 資 産	71,474,825,388	96.3	73,499,454,461	96.8	△ 2.8
有 形 固 定 資 産	66,185,010,937	89.2	68,130,520,050	89.7	△ 2.9
土 地	2,138,051,406	2.9	2,104,757,926	2.8	1.6
建 物	3,072,045,752	4.1	3,018,102,107	4.0	1.8
構 築 物	58,044,531,416	78.3	60,361,121,187	79.5	△ 3.8
機 械 及 び 装 置	2,619,376,837	3.5	2,229,682,433	2.9	17.5
車 両 運 搬 具	1,416,055	0.0	1,712,927	0.0	△ 17.3
工 具 、 器 具 及 び 備 品	326,863	0.0	6,863	0.0	4,662.7
建 設 仮 勘 定	309,262,608	0.4	415,136,607	0.5	△ 25.5
無 形 固 定 資 産	5,289,814,451	7.1	5,368,934,411	7.1	△ 1.5
施 設 利 用 権	5,289,814,451	7.1	5,368,934,411	7.1	△ 1.5
流 動 資 産	2,685,055,186	3.7	2,462,190,537	3.2	9.1
現 金 預 金	1,966,963,028	2.7	1,773,524,503	2.3	10.9
未 収 金	732,119,751	1.0	704,013,473	0.9	4.0
貸 倒 引 当 金	△ 14,027,593	△0.0	△ 15,347,439	△0.0	△ 8.6
資 産 合 計	74,159,880,574	100	75,961,644,998	100	△ 2.4

※消費税及び地方消費税抜き数値である。

-52-

(単位：円、%)

貸			方		
科 目	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
固 定 負 債	14,674,341,139	19.8	16,200,912,999	21.3	△ 9.4
企 業 債	14,669,541,139	19.8	16,196,012,999	21.3	△ 9.4
建設改良等の財源に充て るための企業債	14,669,541,139	19.8	16,196,012,999	21.3	△ 9.4
そ の 他 固 定 負 債	4,800,000	0.0	4,900,000	0.0	△ 2.0
流 動 負 債	3,666,085,861	4.9	3,317,911,942	4.3	10.5
企 業 債	2,383,076,860	3.2	2,597,507,612	3.4	△ 8.3
建設改良等の財源に充 てるための企業債	2,383,076,860	3.2	2,597,507,612	3.4	△ 8.3
未 払 金	1,087,638,844	1.5	696,115,976	0.9	56.2
未 払 費 用	7,184,536	0.0	8,636,572	0.0	△ 16.8
預 り 金	172,750,621	0.2	759,782	0.0	22,636.9
引 当 金	15,435,000	0.0	14,892,000	0.0	3.6
賞 与 引 当 金	12,910,000	0.0	12,472,000	0.0	3.5
法 定 福 利 費 引 当 金	2,525,000	0.0	2,420,000	0.0	4.3
繰 延 収 益	37,103,169,331	50.0	38,334,965,072	50.6	△ 3.2
長 期 前 受 金	48,005,194,885	64.7	47,479,053,701	62.6	1.1
受 贈 財 産 評 価 額	6,303,065,867	8.5	6,303,065,867	8.3	0
国 庫 補 助 金	20,541,574,016	27.7	20,106,945,523	26.5	2.2
県 補 助 金	1,697,847	0.0	1,698,052	0.0	△ 0.0
負 担 金	3,925,382,524	5.3	3,924,988,124	5.2	0.0
他 会 計 補 助 金	17,233,474,631	23.2	17,142,356,135	22.6	0.5
長期前受金収益化累計額	△ 10,902,025,554	△ 14.7	△ 9,144,088,629	△ 12.0	19.2
負 債 合 計	55,443,596,331	74.7	57,853,790,013	76.2	△ 4.2
資 本 金	15,087,072,578	20.4	14,462,053,724	19.0	4.3
剰 余 金	3,629,211,665	4.9	3,645,801,261	4.8	△ 0.5
資 本 剰 余 金	2,320,870,084	3.1	2,320,870,084	3.1	0
受 贈 財 産 評 価 額	1,860,654,400	2.5	1,860,654,400	2.5	0
国 庫 補 助 金	355,669,939	0.5	355,669,939	0.5	0
県 補 助 金	32,005	0.0	32,005	0.0	0
他 会 計 補 助 金	104,513,740	0.1	104,513,740	0.1	0
利 益 剰 余 金	1,308,341,581	1.8	1,324,931,177	1.7	△ 1.3
当年度未処分利益剰余金	1,308,341,581	1.8	1,324,931,177	1.7	△ 1.3
資 本 合 計	18,716,284,243	25.3	18,107,854,985	23.8	3.4
負 債 ・ 資 本 合 計	74,159,880,574	100	75,961,644,998	100	△ 2.4

-53-

5 経営分析表

(1) 構成比率及び財務比率

項 目		算 式	比 率	
			令和7年度	令和6年度
構 成 比 率	1 固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$ $\frac{71,474,825,388}{74,159,880,574} \times 100$	96.4	96.8
	2 流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$ $\frac{2,685,055,186}{74,159,880,574} \times 100$	3.6	3.2
	3 固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$ $\frac{14,674,341,139}{74,159,880,574} \times 100$	19.8	21.3
	4 流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$ $\frac{3,666,085,861}{74,159,880,574} \times 100$	4.9	4.4
	5 自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$ $\frac{55,819,453,574}{74,159,880,574} \times 100$	75.3	74.3
財 務 比 率	6 流動資産対固定資産比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産}} \times 100$ $\frac{2,685,055,186}{71,474,825,388} \times 100$	3.8	3.3
	7 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$ $\frac{71,474,825,388}{55,819,453,574} \times 100$	128.0	130.2
	8 固定長期適合比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$ $\frac{71,474,825,388}{70,493,794,713} \times 100$	101.4	101.2
	9 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ $\frac{2,685,055,186}{3,666,085,861} \times 100$	73.2	74.2
	10 酸性試験比率（当座比率）	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ $\frac{2,685,055,186}{3,666,085,861} \times 100$	73.2	74.2
	11 現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$ $\frac{1,966,963,028}{3,666,085,861} \times 100$	53.7	53.5
	12 負債比率	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債}}{\text{自己資本}} \times 100$ $\frac{18,340,427,000}{55,819,453,574} \times 100$	32.9	34.6
	13 固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本}} \times 100$ $\frac{14,674,341,139}{55,819,453,574} \times 100$	26.3	28.7
	14 流動負債比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本}} \times 100$ $\frac{3,666,085,861}{55,819,453,574} \times 100$	6.6	5.9

(単位：円、％)

令和5年度	備 考
97.3	総資産＝固定資産＋流動資産 総資本＝資本＋負債 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益 ※構成比率は構成部分の全体に対する関係を表すものである。 1 固定資産構成比率は大きいほど資本の固定化の傾向にある。 2 流動資産構成比率は大きいほど資本の流動化の傾向にある。 3 固定負債構成比率 4 流動負債構成比率 } は企業の長期安定性を測定するもので比率が小さいほどよい。 5 自己資本構成比率は大きいほど経営の安定性を示す。 ※財務比率は貸借対照表における資産と負債、または資本との相互関係を表すもので、企業の経営活動の成果と財務状態の健全性を測定するものである。 6 流動資産対固定資産比率は固定資産と流動資産の関係を示すもので、数値が小さいほど資本が固定化している。 7 固定比率 8 固定長期適合比率 } は100％以下が望ましく、超えた場合は過大投資といえる。 9 流動比率は一般的に200％以上を望まれるが、地方公営企業では100％を下らなければよいとされている。 10 酸性試験比率（当座比率）は100％以上を理想としている。 11 現金預金比率は20％以上が望ましい。 12 負債比率は100％以下を理想としている。 13 固定負債比率 14 流動負債比率 } は負債比率の補助的な比率で、両者の合計は負債比率と一致する。
2.7	
23.0	
4.4	
72.5	
2.8	
134.2	
101.8	
61.2	
61.2	
40.5	
37.9	
31.8	
6.1	

(2) 回転率、収益率及びその他の比率

項 目		算 式		比 率	
				令和7年度	令和6年度
回 転 率	15 総資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均総資本}}$	$\frac{4,394,401,507}{75,060,762,786}$	0.1	0.1
	16 自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均自己資本}}$	$\frac{4,394,401,507}{56,131,136,816}$	0.1	0.1
	17 固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均(固定資産－土地－建設仮勘定)}}$	$\frac{4,394,401,507}{70,003,535,651}$	0.1	0.1
	18 流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均流動資産}}$	$\frac{4,394,401,507}{2,573,622,862}$	1.7	1.9
	19 現金預金回転率	$\frac{\text{当年度支出額}}{\text{平均現金預金}}$	$\frac{10,237,367,373}{1,870,243,766}$	5.5	6.1
	20 未収金回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均未収金}}$	$\frac{4,394,401,507}{718,066,612}$	6.1	6.1
	21 減価償却率	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	$\frac{3,225,074,891}{72,252,586,265} \times 100$	4.5	4.4
収 益 率	22 総資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{平均総資本}} \times 100$	$\frac{608,429,258}{75,060,762,786} \times 100$	0.8	0.9
	23 自己資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{平均自己資本}} \times 100$	$\frac{608,429,258}{56,131,136,816} \times 100$	1.1	1.2
	24 総収益対総費用比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{6,269,013,305}{5,660,584,047} \times 100$	110.7	112.4
	25 営業収益対営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	$\frac{4,394,401,507}{5,346,376,691} \times 100$	82.2	83.5
そ の 他	26 利子負担率	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{平均(借入金} + \text{企業債} + \text{リース債務)}} \times 100$	$\frac{230,852,235}{17,923,069,305} \times 100$	1.3	1.4
	27 企業債償還額対償還財源比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{当年度減価償却費} + \text{当年度純利益}} \times 100$	$\frac{2,607,502,612}{3,833,504,149} \times 100$	68.0	70.8

(単位：円、回、%)

令和5年度	備 考
0.1	平均＝1/2（期末＋期首） 償却資産＝（有形固定資産＋無形固定資産）－（土地＋建設仮勘定） ※回転率は企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に利用されていることを表すものである。 15 総資本回転率は企業に投下されている資本の効果を判定する。 16 自己資本回転率は自己資本の利用度を示すもので低すぎても高すぎてもよくない。 17 固定資産回転率は固定資産の利用度を示すもので大きいほど企業は安定である。 18 流動資産回転率は大きいほど資本の運用形態がよい。 19 現金預金回転率は支払金に対する現金の利用度を示す。 20 未収金回転率は大きいほど未収金の回収状況がよい。 21 減価償却率は固定資産に投下された資本の回収状況をみる。 ※収益率は収益と費用を対比して企業の経営活動を表すもので、その比率は大きいほど良好な成果を示すものである。 22 総資本利益率 23 自己資本利益率 } は投下した資本の収益力を測定する。 24 総収益対総費用比率 25 営業収益対営業費用比率 } は企業の全活動の能率を表すもので100%以上が理想である。 ※その他の比率 26 利子負担率は利子負担を抑制し、財務の健全性確保の指針とする。 27 企業債償還額対償還財源比率は100%以下が望ましいとされる。
0.1	
0.1	
2.2	
7.5	
6.1	
4.3	
0.8	
1.1	
110.9	
82.5	
1.4	
79.8	

6 経営指標の推移

(1) 経常収支比率 (単位：円、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収益 (A)	6,412,839,029	6,396,616,340	6,350,185,296	6,326,820,131	6,269,013,305
経常費用 (B)	5,838,814,635	5,679,575,431	5,721,385,423	5,627,782,195	5,660,584,047
経常損益 (A)－(B)	574,024,394	717,040,909	628,799,873	699,037,936	608,429,258
経常収支比率 (A)/(B)×100	109.8	112.6	111.0	112.4	110.8

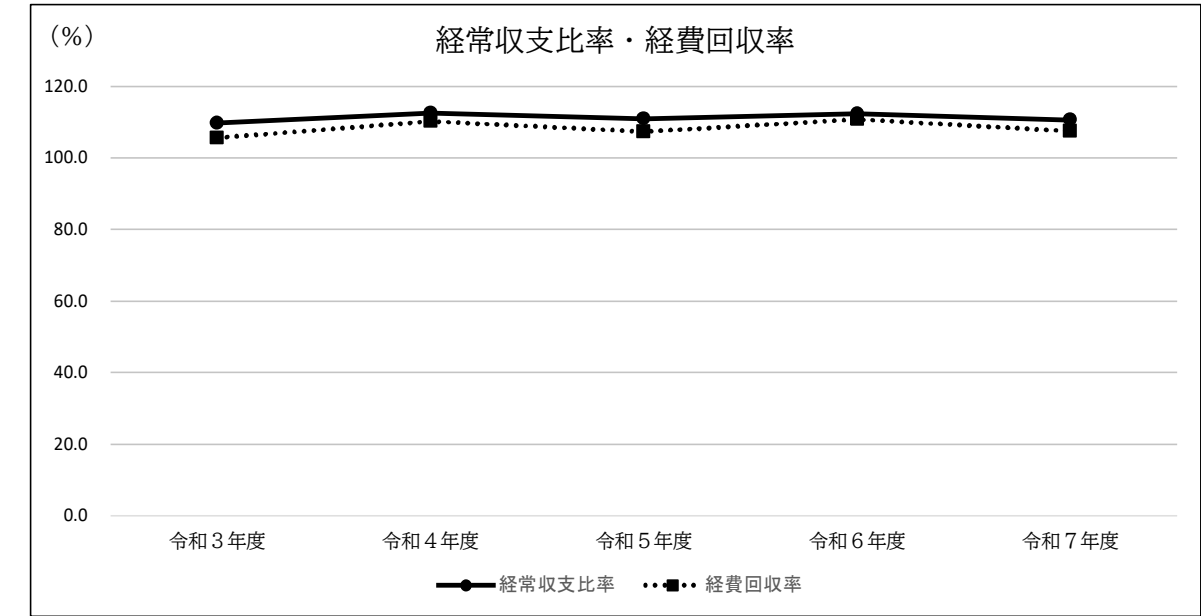
※経常収支比率は、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。100%を超えると単年度の収支が黒字であることを示している。

(2) 経費回収率 (単位：千円、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
下水道使用料 (A)	3,379,176	3,458,533	3,440,953	3,445,080	3,443,848
污水处理費（公費負担分を除く） (B)	3,198,006	3,135,530	3,203,318	3,110,006	3,199,622
経費回収率 (A)/(B)×100	105.7	110.3	107.4	110.8	107.6

※経費回収率は、使用料で賄うべき経費をどの程度賄えているかを表す指標。100%を超えると当該経費を使用料で全て賄えている状況であることを示している。

※表中の下水道使用料及び污水处理費については、計算過程において千円未満を四捨五入して算出している。



(3) 有形固定資産減価償却率 (単位：円、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有形固定資産減価償却累計額 (A)	6,108,202,906	9,100,261,688	12,026,034,960	14,985,952,870	17,935,167,278
有形固定資産のうち償却対象資産の年度末現在高(B)	78,892,629,859	79,604,572,692	79,878,173,043	80,596,578,387	81,672,864,201
有形固定資産減価償却率 (A)/(B)×100	7.7	11.4	15.1	18.6	22.0

※有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。資産の老朽化度合いを示している。一般的には、数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示し、将来の施設の改築等の必要性を推測することができる。

(4) 管渠老朽化率 (単位：km、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
法定耐用年数(50年)を経過した管渠延長 (A)	48.05	125.27	128.78	129.66	144.48
管渠延長 (B) ①+②	1,075.90	1,079.08	1,078.12	1,082.45	1,084.00
污水管延長 ①	924.28	927.46	926.38	930.64	932.07
雨水管延長 ②	151.62	151.62	151.74	151.81	151.93
管渠老朽化率 (A)/(B)×100	4.5	11.6	11.9	12.0	13.3

※管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。一般的には、数値が高い場合、法定耐用年数を経過した管渠を多く保有しており、管渠の改築等の必要性を推測することができる。

